

マレーシアの宗教と行事

クアラルンプール日本人学校 高濱 東子

マレーシアは、ユーラシア大陸最南端のマレー半島南部（半島マレーシア）と南シナ海を隔てたボルネオ島（カリマンタン島）北部（東マレーシア）からなる熱帯の国である。面積は約33万km²で、そのうち70%が熱帯雨林で覆われている。また、人口は約2327万人（2000年国勢調査）で、その民族構成は、マレー系住民65.1%、中国系住民26.0%、インド系住民7.7%、その他の少数民族等1.2%となっている。

赴任当初、最も印象的だったのは、その多民族、多宗教国家であるという点だ。マレーシアの国教はイスラム教で、現在イスラム諸国会議議長国も務める。マレー系住民のほとんどはムスリムで、街角やカンポンのヤシ園の中にたくさんモスクを見かける。朝夕には、近くのモスクからアザーンの旋律がスピーカーを通して流れてくる。



世界で4番目に大きい通称ブルーモスク

一方、都市部では中国系住民も多い。経済的に優位に立っている中国系住民は、社会の至る所に進出しており、必然的に私たち日本人とも出会う機会が多い。中華街も各地にあり、中国風とマレー風の文化が混じり合っている感じがおもしろい。

インド系の人々、サリーを身につけている女性などもごく普通の光景だ。マレーシアでは色鮮やかなヒンドゥー寺院も時々見ることができる。



ヒンドゥー寺院

その他、欧米人やフィリピン、ミャンマーなど近隣諸国からの出稼ぎの人たちなど、外国人も多い。私たちもその部類に入る。

活気に溢れた街や人を見てみると、ここクアラルンプールは、本当に南アジアの経済・文化の中心なのだと感じられる。

マレーシアでは、その多民族性から、非常に多く宗教的行事が開催される。祝祭日として日本人学校が休みになる日もある。

★主立った行事★

【ニューイヤーズデー】（1月1日）

日本と同じ、欧米式の太陽暦のお正月。

でも、日本のような特別な感じはない。

【アワルムハラム】（イスラム暦1月1日）

イスラムの正月。今年は2月1日だった。

【ムハンマドバースデー】（イスラム暦3月12日）



キリスト教会

【ヌズルコーラン】(イスラム暦9月17日)

「断食の月(ラマダン)」の17日にあたる。コーランを読み合って信仰を深める。

【ハリラヤプアサ】(イスラム暦10月1日)

1ヶ月間の「断食の月」が終わった翌日。盛大な祭りが約1ヶ月間催される。日本にとっての正月のような特別な行事。都市部に住むムスリムは、皆カンポンへ里帰りする。それぞれの家ではオープンハウスの用意をして、誰でも客として迎え入れる習慣がある。

【ハリラヤハジ】(イスラム暦12月10日)

犠牲祭とよばれる儀式。

【チャイニーズニューイヤー】(中国暦1月1日)

旧暦の正月。中国系の人たちにとっての一番賑やかな祭日。お互いに蜜柑を配り合う習慣がある。「柑」は「金」につながる所以縁起がよい。

【ウェサックデー】(中国暦4月15日)

仏教の「釈迦生誕祭」。日本では花祭りともよばれる。

【端午節】(中国暦5月5日)

屈原が湖に投身した日とされ、屈原を探した故事にちなみドラゴンボートレースが行われるようになったと言われる。この日に粽(ちまき)を食べる習慣もある。

【七夕】(中国暦7月7日)

織姫(チンニュー)、牛郎(ニューラン)が無事会えるように、晴天を祈る。また、美しい女性になれるよう、白い粉や化粧品を備えたり、裁縫の上達を願う。

【中秋節】(中国暦8月15日)

日本での十五夜にあたる。親しい人に月餅(ムーンケーキ)を贈り合う習慣がある。

【グッドフライデー】〔聖なる金曜日〕(ユダヤ暦3月)

イエスが十字架にかけられたのがこの13日の金曜日だったとの伝承から。イエスは死後3日目に復活したといわれ、その日を復活祭(イースター)として祝っている。

【クリスマスデー】(12月25日)

【ディパバリ】(ヒンドゥー暦6月)

「光の祭」ともいわれる。ヒンドゥー教徒が悪に対する善、暗闇に対する明かりの勝利を祝う。

【タイプーサム】(ヒンドゥー暦10月)

ヒンドゥー教の祭で、ディパバリと並ぶ2大行事の1つ。体に串やかぎ針をさして歩く奇祭。発祥の地インドでは、危険という理由で禁止されているが、現在でもマレーシアでは毎年開催されている。

このように各民族・宗教ならではの多彩な行事が年間を通して開催されている。そして、それぞれに対して、他の民族集団が寛容に捉え、お互いに尊重し合って生活していることがマレーシア最大の特徴であるようだ。私の勤務する日本人学校では、中国系、マレー系、欧米系などさまざまな背景をもった子ども達が多く生活している。行事が近づくと、一緒になって準備をしたり、お祝いをするのも、また楽しみの一つだ。

(参考文献「資料集MALAYSIA2004」「マレーシアだいすき2」KL日本人学校編)